

2011年5月25日

震災対応に係わる海況担当者会議 議事録

日 時： 平成23年5月24日(火)13時00分から17時15分まで
場 所： 985-0001 宮城県塩竈市新浜町3-27-5
(独)水産総合研究センター 東北区水産研究所会議室
電話 022-365-1191 (代表)

参加者： 田中淳也 地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所 主任研究員
横澤祐司 岩手県水産技術センター 上席専門研究員
佐伯光広 宮城県水産技術総合センター 技術主幹
小野寺恵一 宮城県水産技術総合センター 研究員
佐藤利幸 福島県水産試験場 主任研究員
小日向寿夫 茨城県水産試験場 主任
黒田敬子 千葉県水産総合研究センター 研究員
渡邊康憲 北海道区水産研究所 特任部長
平井光行 東北区水産研究所 所長
山田陽巳 東北区水産研究所 資源海洋部長
黒川忠英 東北区水産研究所 増養殖管理グループ長
栗田 豊 東北区水産研究所 沿岸資源グループ長
清水勇吾 東北区水産研究所 主任研究員
笥 茂穂 東北区水産研究所 研究員
齊藤宏明 東北区水産研究所 生態系動態グループ長
田所和明 東北区水産研究所 主幹研究員
岡崎雄二 東北区水産研究所 主任研究員
伊藤進一 東北区水産研究所 海洋動態グループ長

議 事

1) 各機関における被害、復旧情報の共有

各機関における被害、復旧状況について報告があり、質疑応答を行った。

2) 震災の海洋環境・水産業への影響に関する情報の共有

各県において震災によって既に起きている海洋環境・水産業への影響、それに対し実施している対応、今後必要とされる調査について報告があった。同様に、今

後起きると予想される海洋環境・水産業への影響、今後必要とされる調査について報告があり、その内容について情報交換を行った。

既に起きているこれから起きると予想される影響としては以下のものに大別された。

- ①津波によって陸上から流出した大量の漂流物と瓦礫
- ②油分・農薬等化学物質の流出
- ③下水施設被害による大腸菌等の発生
- ④放射能汚染
- ⑤陸上からの栄養塩の大量供給に伴う赤潮・貧酸素水塊の発生
- ⑥津波による底質変化
- ⑦沖合での調査不足から資源評価や漁海況予報の精度が保てなくなる（親潮の南下が弱く震災の影響とあわせ生態系への影響が心配）

3) 資源評価調査事業など事業実施に関する問題点の検討

資源評価調査事業等の実施に関する問題点として以下のものがあげられた。

- ・調査船被害による調査の中止
- ・市場被害による市場調査の中止
- ・放射線安全確認調査実施のための調査日数のしわよせ
- ・漁具流出による調査の中止
- ・多量漂流物によるノルパックネット観測実施点の変更
- ・燃油高騰に伴う調査日数確保の問題

4) 今後の海洋観測の実施計画に関する検討

調査船や港湾施設が被害を受けたため、各県の定線観測の実施が難しい状況にある。その実施状況と見込みは以下のように報告された。

- 4月 北光丸で岩手、宮城、福島沖を観測、千葉丸が茨城県境を観測し全体をカバー。
- 5月 岩手丸、いばらき丸が実施。北鳳丸で宮城亙理線、福島塩屋崎線を観測中。
- 6月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。蒼鷹丸で宮城亙理線、福島塩屋崎線を観測予定。
- 7月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。若鷹丸で宮城亙理線を実施予定。福島塩屋崎線は東京海洋大学神鷹丸で実施することを検討中。
- 8月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。若鷹丸で宮城亙理線を実施予定。福島沖は拓水丸で実施検討中。
- 9月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。若鷹丸で宮城亙理線を実施予定。福島沖は拓水丸で実施検討中。

- 10月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。東京海洋大学神鷹丸あるいは照洋丸での宮城県沖、福島県沖の実施を検討中。
- 11月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。照洋丸での宮城、福島沖の実施を検討中。
- 12月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。照洋丸での宮城、福島沖の実施を検討中。
- 1月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。宮城沖は未定。福島沖は拓水丸での実施を検討中。
- 2月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。宮城沖は未定。福島沖は拓水丸あるいは他船での実施を検討中。
- 3月 岩手丸、いばらき丸が実施予定。若鷹丸で宮城亙理線を実施予定。福島沖は拓水丸あるいは他船での実施を検討中。

照洋丸、神鷹丸、海鷹丸などで調査を実施する場合には、福島県や宮城県から調査員が乗船することを検討することとなった。この他、データ処理方法、データポリシーは事業での規定に沿うことが確認された。

5) 今後の海況予報・情報提供の実施に関する検討

FRA-JCOPE の運用停止、震災による計算機センターの運用停止や新海況予測システムの構築の遅れ、そして震災の影響による観測データの不足から、4, 6, 8月に予定していた平成23年度第1回から第3回の東北海区海況予報を中止することが提案され、了承された。

結果として以下のように海況予報を実施することとなった。

- 4月 平成23年度第1回東北海区海況予報（中止）
- 6月 平成23年度第2回東北海区海況予報（中止）
- 7月 平成23年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報
- 8月 平成23年度第3回東北海区海況予報（中止）
- 9月上～11月下 サンマ中短期漁況予測および水温分布図
- 12月 平成23年度第4回東北海区海況予報
- 2月 平成23年度第5回東北海区海況予報

また、迅速な情報提供を行うことを目的として以下のことを実施していることが報告された。

- ①別システムによる計算結果の内部向け配信
- ②東北ブロック沿岸水温速報の運用を再開（5/9から）
<http://tohokubuonet.myg.affrc.go.jp/Vdata/>
- ③東北海区水温図の継続
<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/temp/temp.html>

④リアルタイム海況情報提供システムの継続

<http://oceaninfo.dc.affrc.go.jp/ShipLAN-HKWeb/frontmap>